

◆プロジェクトの背景

蒲郡市民病院は築 25 年以上が経過し、様々な課題が生じている。「市民の健康・生命を守っていくこと」、「市民が安心して医療を受けられること」を将来に渡って確実に進めるため、基本計画等で議論を進めてきた。それらの検討を受け、基本設計として具体化した事業概要を示す。

- 市民の健康・生命を守る
- 市民が安心して医療を受けられる

蒲郡市民病院の
使命を理解する

【病院の中期の目標】

1. 大学病院に遜色のない医療の提供
2. 全国に先駆けた地域包括医療システムの構築
3. 地域医療の全てに中核的責任を担う覚悟と実践
4. 学生・研修医等に対する実践的教育の充実
5. 磨かれた倫理観と使命感の共有

【基本計画で策定された機能強化のコンセプト】

- ・災害発生や感染症拡大など非常時における傷病から住民の生命を守る
- ・疾病予防や健康回復等の機能を一層強化し、生活の質の向上に寄与する
- ・病院と先端企業等との連携・交流を図る
- ・脱炭素社会の実現に向け、蒲郡市ゼロカーボンシティ宣言を具現化する
- ・医療データとデジタル技術を活用して、診療・治療、経営モデルを変革する

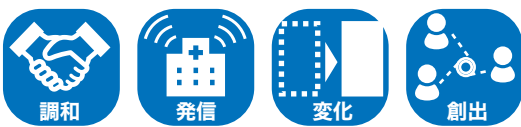
【既存病院の現状と課題】

- ▲スペース不足
- ▲プライバシー配慮
- ▲環境配慮
- ▲非常時対応・・・etc

プロジェクトの方針を

- ・病院機能の強化
- ・さらに高度な医療を提供するための連携

目指す姿を実現する4つの設計コンセプトを提案する。



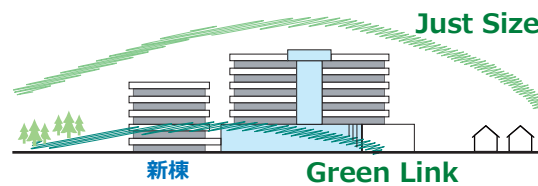
◆病院の目指す方針に応える設計コンセプト

病院の目指す方針を「病院の機能強化」及び「さらに高度な医療を提供するための連携」と理解し、4つの設計コンセプトを提案する。



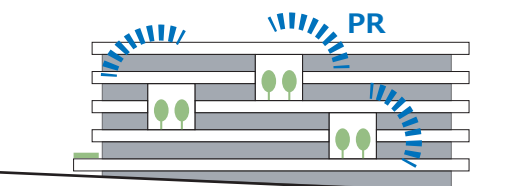
周辺地域との調和

- ・周辺環境（みかん畑 / 住宅地 / 山地）に調和するシンプル形状と緑の連続
- ・地場産材の活用



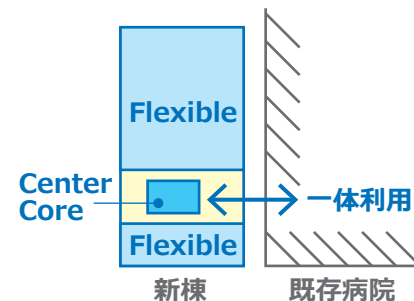
環境共生の発信

- ・環境配慮の取組を地域に発信
- ・ゼロカーボン施策の見える化



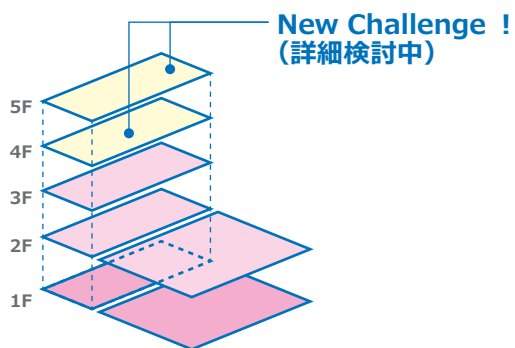
環境にあわせた変化

- ・将来変化に対応しやすいフレキシブルな平面計画
- ・災害時・非常時への対応



新たな連携の創出

- ・病院と医療系企業等の連携創出
- ・病院と行政機能の連携促進



◆計画建物概要（新築2棟+既存改修）

【新棟】

- 規模 / 構造 : 地上6階、S造
- 延べ面積 : 約 8,850 m²
- 建築面積 : 約 2,500 m²

【発電機棟】

- 規模 / 構造 : 地上1階、RC造
- 延べ面積 : 約 80 m²
- 建築面積 : 約 80 m²

【既存病院】改修あり

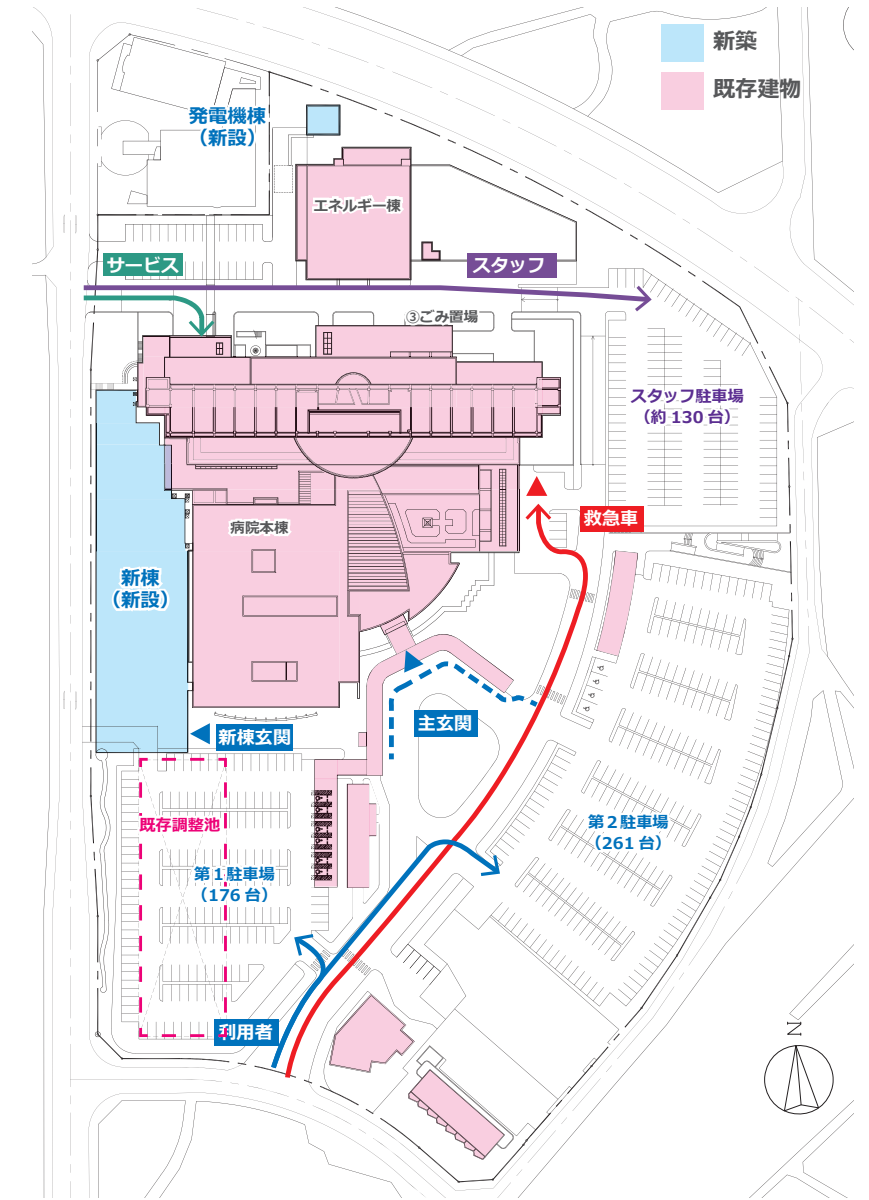
- 既存棟数 : 計 10 棟
- 規模・構造 : 地上8階、塔屋1階、SRC造
- 延べ面積 : 28,586.56 m²※
- 建築面積 : 10,226.21 m²※
- 病床数 : 382 床
- 改修面積 : 約 3,300 m²

※は看護宿舎、院内保育所を除く

◆新棟階層構成

| | | | | | |
|----|-------|---------|------|----|--------|
| 6F | 電気室 | | | | |
| 5F | 講堂 | 臨床研究 | 備蓄倉庫 | | |
| 4F | 救護訓練 | 医療・行政連携 | | | |
| 3F | 医局・図書 | スタッフ研修 | | | |
| 2F | 外来拡張 | 化学療法 | 会議 | 接続 | 管理部門 |
| 1F | 健診 | 生理検査 | 外来拡張 | 接続 | 外来 放射線 |

新棟 ←→ 既存棟
円滑に利用しやすい接続

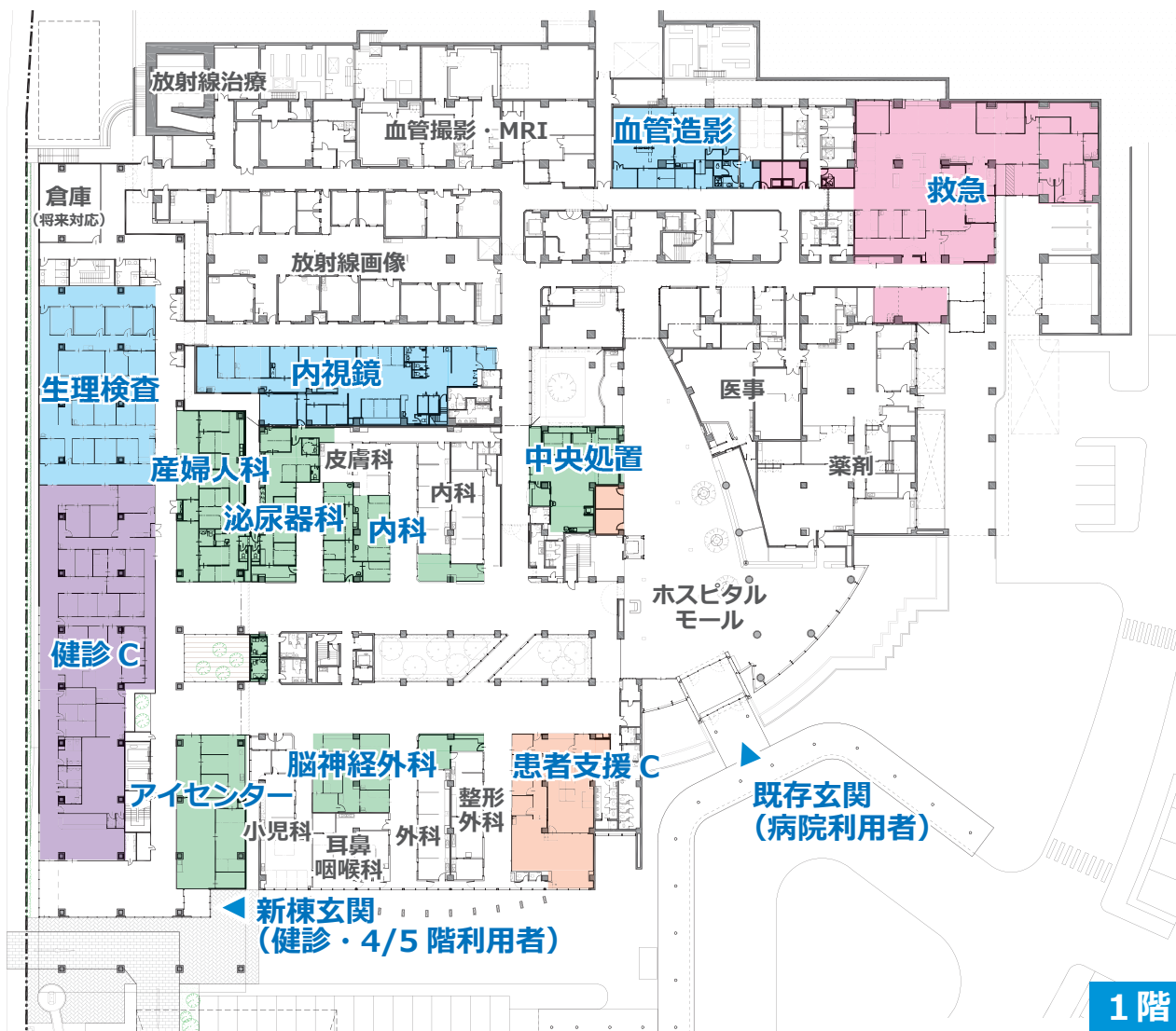
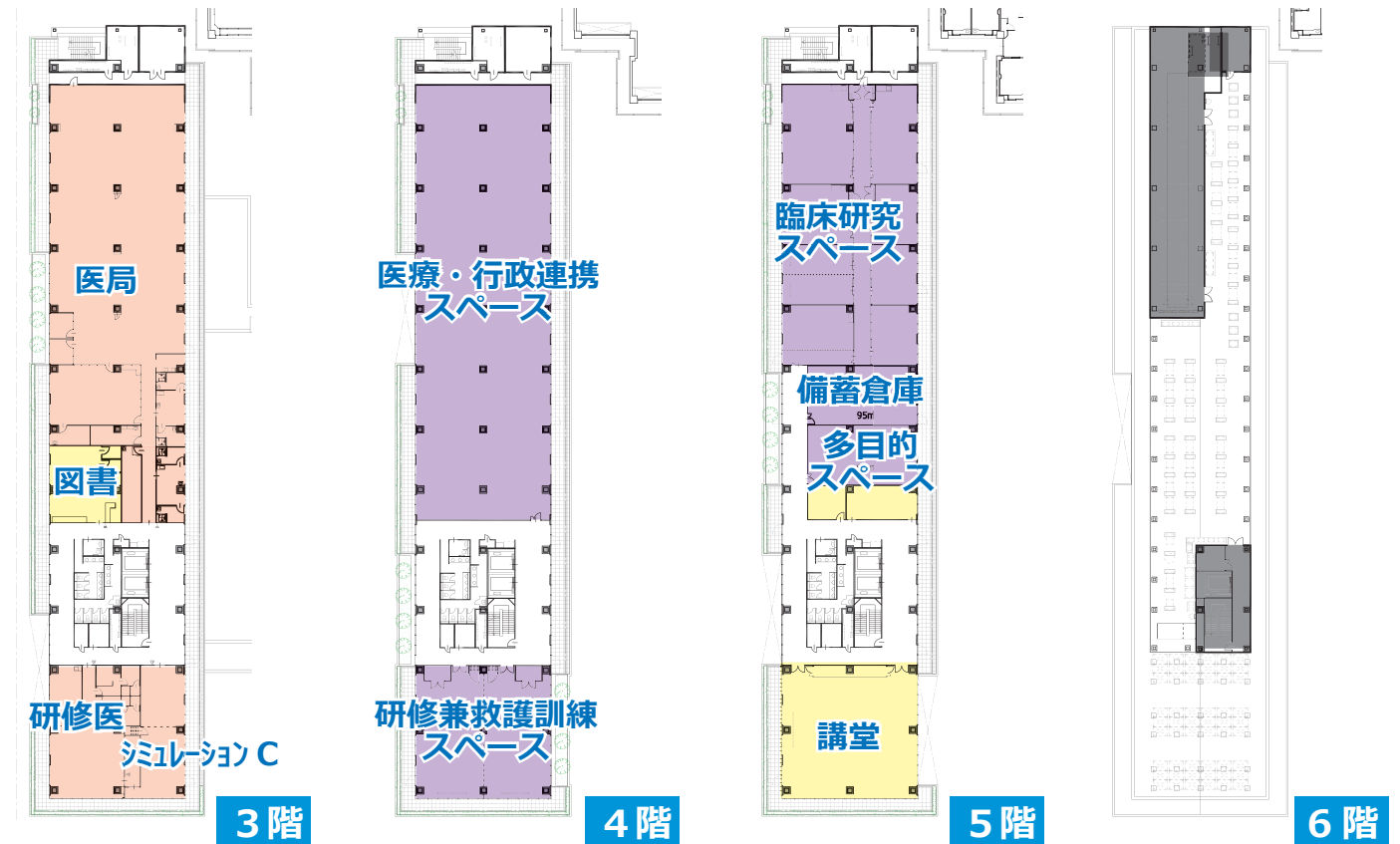
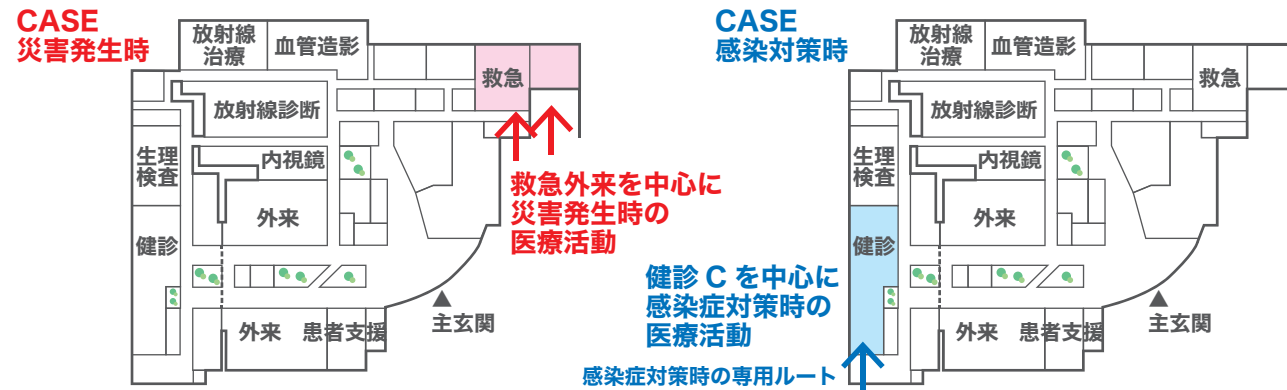


◆ 平面計画概要

- 新棟および着色部の既存改修が今回事業の計画範囲である。
- 新棟は既存病院本棟の西側エリアに6階建てで計画し、1・2階で既存病院本棟と接続する。
- 既存改修は新棟完成後、既存部門の引越後を想定する。
狭隘化対策として部門拡張が主となるが、血管造影の新規導入など医療機能も強化する。

◆ 非常事対応の想定

- 非常時対応として、災害発生時・感染症対策時のCASEに分けて対応を検討する。
- いずれの場合も一般患者の診療を継続できる対応計画を策定する。



◆ 構造計画概要

- 構造計画の基本方針
新棟は「災害拠点病院」として機能を発揮するため、高い耐震性能を備えた施設とし、安全性・施工性・経済性に優れた構造計画とする。
- 耐震性能
大地震時に建築基準法で求められる建物耐力の1.50倍以上の耐力を有する建物とする。
- 基礎計画
 - 基礎構造は地盤調査結果と建物規模を考慮し最適な方式とする。
 - 液状化に関しては発生及びその危険度は低い地盤である。
- 上部架構計画
 - 構造種別を鉄骨造とし、架構形式をラーメン構造とする。
 - 大地震時の変形抑制のため、柱はコンクリート充填鋼管構造（CFT柱）を採用する。
 - 上階講堂は15mのロングスパン架構として、フレキシブルに利用しやすい構造とする。
 - 床には、鉄筋トラス筋付き型枠デッキを積極的に採用し、現場作業の省力化と工期短縮を図る。

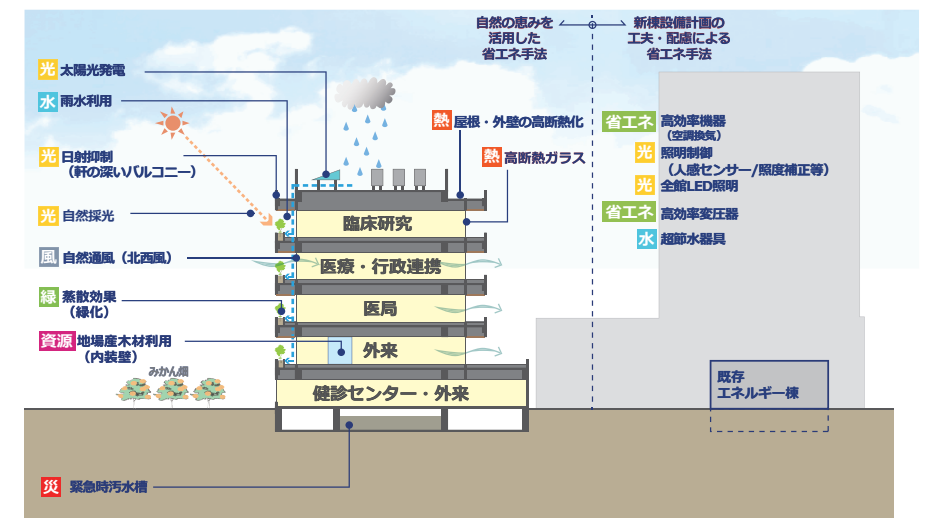
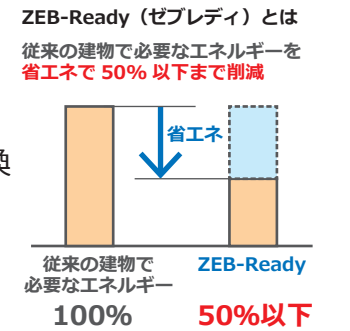
◆ 設備計画概要

- 設備計画の基本方針
病院は技術の進歩と共に高度情報化により年々複雑化するとともに設備に対する依存度は高まり、その供給において信頼性・安全性の高い設備であることが求められる。また、診療・療養環境やスタッフの執務環境に配慮した使い易く効率的、且つ機能面なシステム整備も重要である。
- 電気設備計画
 - 電力引込 : 2回線受電化(6.6kV)、増築後2000kW想定
 - 受変電設備 : 新棟6階に受変電設備を屋内設置
: 既存エネルギー棟内に高圧盤を新設
 - 発電機設備 : 発電機棟を新設、オイルタンクは既設利用
- 空調換気設備
 - 熱源設備 : ビル用マルチエアコン(電気式・ガス式併用)
 - 空調設備 : 個別空調方式
 - 換気設備 : 中央換気方式(外来部門)
: 個別換気方式(その他部門)
- 給排水衛生設備
 - 給水設備 : 加圧給水方式、飲用・雑用2系統給水
 - 排水設備 : 屋内分流・屋外合流方式
 - 給湯設備 : 中央給湯方式
 - その他設備 : 都市ガス設備、消火設備、医療ガス設備

◆ 環境配慮概要

- 蒲郡市の「ゼロカーボンシティ宣言」を実現する旗艦事業の一つとして、新棟はZEB-Ready相当を目指す。

- 環境性能の向上・環境配慮
 - 自然エネルギーの活用
 - 創エネルギー
 - 低炭素化を目指したエネルギー転換
 - 高効率機器・高断熱ガラスの採用
 - バルコニー・植栽による日射制御



◆ 今後の予定と概算事業費

■ 工程

| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 基本設計 | ■ | | | | | |
| ECI発注 | | ■ | | | | |
| 実施設計 | | | ■ | | | |
| 新棟建設工事 | | | | ■ | ■ | |
| 既存改修工事 | | | | | | ■ |
| エネルギー棟設備更新 | | | | ■ | ■ | ■ |

■ 概算事業費

単位：百万円、税込

| 項目 | | 概算事業費 |
|-------------|----------|-------|
| 建設工事費 | 新棟建設費 | 5,163 |
| | 既存棟改修費 | 843 |
| | 既存不適格解消費 | 94 |
| | 小計 | 6,100 |
| エネルギー棟設備更新費 | | 2,400 |

